

小指の母を同時に」とすればよい。母方の場合、母の両親。

また、父母の両親を表わす時もある。即ち、父母を表わし、折り曲げられた他の三指の上を左の人差指でなで降し、その手で両親を表わす。

○曾祖父母、父母の父母のその父母と三重の手まねをする。即ち系図を逆に上へ描き表わす心得。

空 「青い」の手まねをして右人差指で天をさす。

それから (イ) その後の意味の場合。未来 (五指の指頭を上になしし掌を前向けた右手を肩の辺りから前方へ押し出す) で表わせばよい。(ロ) として、それからの場合。左手の掌の上に右手の掌を叩き降して (事の完了) 一時の流れ。

算盤 「会計」と同じ手まね。

損 左右両手で夫々「金銭」を表わした人差指と親指でつくった輪を胸の前で開いて (五指を開く) 前へ物を捨てるようにする。

夕

田 左腕を前にさし伸ばし、手首のところまで曲げて、五指の指頭を上になしし掌を内側にし、その腕の関節に、五指の指頭を左になしし掌を内側にした右手をのせてから、右へ引いて行く、左手の掌を田の境として、右手を右へ引くのは、田を区切った畔を意味するものか。

鯛 赤一魚。(黒鯛もあるが一般概念として)

退学 「学校」の手まねをして、左手掌上に右手の集め合わせた五指の指頭をつけ、手前へ引き離す。学籍簿から氏名を引き去ること

と。

大学 頭中央前上に両手の前方にさした人差指の指頭をつけ合せてから左右に離し、頭の上に夫々菱形を後方へ描く。大学の角帽を模写したもの。

退却 「前進」では指頭を上向け掌を前向けた両手を並らべ一列横隊の形をつくり、そのまま前方へ押し出すのに返して、その横隊を手前左方斜めに引き寄せる。

体験 「経験」と同じ。

大工 胸の稍々右寄り前で、五指を彎曲して掌を下向けた左右両手を前後にならべ鉋を持つ姿態をつくり両手をそのまま手前へ引き寄せては前に出して、鉋を使う動作―男性。

退屈 「待つ」と同じ手まね。

太鼓 (ハ) 小太鼓ならば、左手で太鼓を吊るし持つ真似をし、右手でむちを持って叩たく身振り。

(ハ) 大太鼓ならば、上に吊るされた太鼓を仮想して、右手でむちを持って叩たく身振り。

(ハ) 祭り太鼓のような場合は両手の人差指をむちとして下に置かれた太鼓を交互に叩たくりく身振り。

大根 両手で大根を引き抜く身振りをして――白の手まねをして、掌を前に向け五指を彎曲した両手をならべ左右に引き離して行く（大根の丸く長く長い形状を模写）

退治 五指の指頭を上向け掌を内側にした左手の上から右手掌で押し降す（弾圧、圧制）次に、「全滅」の手まねの「全くなくなる」を表わす。

退職 「退学」と同じ要領。役所或は工場の手まねをして、上向けた左手の掌の上に右手の集め合せた五指の指頭をつけ、手前へ引き離す。即ち籍をぬくこと。